

「情報通信技術に基づく未来社会基盤の創生」

(河野隆二代表)

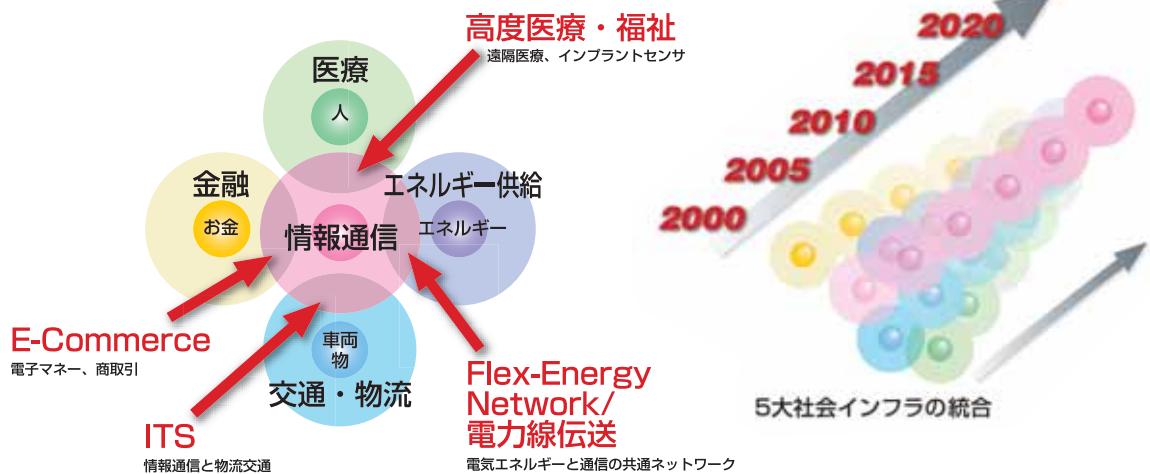
究極の目標

情報通信技術・医工連携技術に基づく
未来社会基盤創生

情報通信・交通・エネルギー供給・金融・医療福祉の5大インフラの統合ネットワーク

- | | | |
|-------------------------|-----------|-------------------|
| A. 情報の流れ(情報通信) | (例) A + B | TS(高度交通システム) |
| B. 車両と物の流れ(交通・物流) | A + C | 電力配電線通信システム |
| C. エネルギーの流れ(送電、エネルギー供給) | A + D | 電子商取引(e-commerce) |
| D. お金の流れ(金融) | A + E | ユビキタス医療・福祉 |
| E. 人間・病気治療の流れ(医療・福祉) | | |

のトラフィックコントロールを統合的に行う統合インフラストラクチャ



平成14年度に採択された文部科学省21世紀COEプログラムです。平成18年3月3日にCOEシンポジウムを教育文化ホールで開催しました。世界的なIT産業の急成長とバブル崩壊という大きな変遷を経て、情報通信技術(ICT)は着実な進歩を遂げ、再び大きな需要や技術革新、新たなサービスが求められる状況に至りました。本学COEではICTをコアに情報システムとデバイス研究の2グループが中核に、それらの利用先である地球環境、経済流通、生産システム、ロボット技術などを未来社会基盤グループが研究しました。本年度はさらに医療情報グル

ープが加わり、新たな方向を模索してきました。今回のシンポジウムは、情報通信産業リーダ、医療研究者、海外研究者から成る4名の基調講演に本COEの成果発表を加え、新時代を展望するシンポジウムとなりました。

総合評価 すばらしい研究成果をあげている。これまでの大きな成果をベースに、新たな飛躍への体制作りが期待される。今後は学際プロジェクトとしてのシナジー効果を期待したい。

外部評価委員： 平田泰夫先生(KDDI研究所)
持田侑宏先生(富士通研究所)

「持続可能社会を担う水素エネルギー横浜プロジェクト」

(太田健一郎主査、田中裕久、渡邊正義副査)

一次エネルギーをほとんど持たない日本の将来のエネルギー社会を広い視野から考えていこうとする研究プロジェクトで、3つの研究グループで推進してきました。中間成果報告会は平成17年7月28日、教育文化ホールで

大勢の学外からの聴衆を集めて盛大に行われました。

太田プロジェクトは燃料電池・水素材料・安全性評価をテーマに研究を進め、燃料電池の酸素還元反応において、TaやZrの酸化物が特異的な挙動を示すことを見出し